

# 南三陸 復興まちづくり通信

第15号(平成27年9月発行)



一般社団法人 復興みなさん会

復興みなさん会は平成23年10月から、南三陸町内で東日本大震災の復興支援を継続しています。法人化を機会に、町内外の皆さまに活動の内容をご理解いただき、共に地域の再建への道を歩んでいくために『南三陸復興まちづくり通信』を毎月発行しています。読者の皆様からの情報、ご意見、ご提案を頂戴できれば幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

## 進む戸倉地区の高台移転団地整備

戸倉地区で整備が進む戸倉団地の工事が順調に進んでいます。同団地には防災集団移転による宅地が84区画整備されます。工事の進捗率は8月末現在でおよそ85%です。また、災害公営住宅は集合タイプ70戸と戸建て住宅10戸の計80戸が建設中で、来年4月頃の入居開始が予定されています。隣接地に建設中だった戸倉小学校は8月末に完成しました。10月4日に落成式が行われる予定で、6日から新校舎での授業が始まります。



(完成した戸倉小学校の新校舎)



(戸倉防集団地の造成工事現場の様子)



(建設が進む災害公営住宅。手前は国道398号線)



(志津川東第3街区災害公営住宅の位置図)

## 志津川東第3街区災害公営住宅着工

志津川ベイサイドアリーナ西側に位置する「志津川東第3街区災害公営住宅」の建設工事が7月に始まりました。同住宅は、集合住宅タイプ鉄骨造り4階建て2棟で、56戸が整備されます。街区の特徴は、介護・介助しやすい部屋の間取り（福祉配慮住戸）であることや、ペット飼育を禁止する点などです。また、役場や間もなく完成する病院・ケアセンターにも近接しています。設計・施工は大和ハウス工業株式会社で、平成28年9月の完成予定です。



## 建築学会がまちづくりの進捗状況視察

日本建築学会の「住まい・まちづくり支援建築会議 復興住まい・まちづくり部会」のメンバー26人が9月8日、南三陸町を訪問し、入谷の復興公営住宅を視察しました。当日は、公営住宅集会所を会場に、復興みなさん会のメンバーが災害公営住宅におけるコミュニティ支援の取り組みなど、会の活動について説明しました。また、同公営住宅の入居者2人が、それぞれ震災から入居までの経緯や入居後の暮らしの変化、現在の暮らしぶりや課題などについて紹介しました。



(入谷の復興公営住宅を見学する視察団のメンバー)



(仮設住宅の入居者と記念撮影をする啓明学園の児童)

## 東北体験学習で仮設入居者と交流

～啓明学園初等学校5年生が南三陸町訪問～

東京都昭島市にある啓明学園初等学校の5年生30人が7月21日から2泊3日の日程で、東北体験学習を行い、南三陸町を訪れました。一行は、志津川の防災対策庁舎を見学したほか、南方の仮設住宅集会所で、入居者と和やかに交流しました。復興みなさん会のメンバーが、「南三陸 椿ものがたり」の紙芝居で、椿をテーマにした復興まちづくりの取り組みについて紹介しました。啓明学園の児童による南三陸町訪問は、昨年に続き今年で2回目です。

## 福岡大生がボランティアで下草刈り

8月19、20日の両日、福岡大学復興支援隊第5次派遣隊の学生50人が南三陸町を訪れました。初日は、志津川の上山八幡宮社務所を会場に、復興みなさん会の工藤真弓さんが「つなみの紙芝居」を上演し、震災当時の状況について説明しました。翌日は2つのグループに分かれてボランティア活動に従事。このうち18人が、昨年6月に兵庫県加古川市立平岡中学校の生徒160人が植えた上の山の「椿の避難路」の下草刈り作業をしてくださいました。みなさん、お疲れ様でした。



(炎天下、下草刈り作業に精を出す福岡大生)

一般社団法人 復興みなさん会

〒986-0751 宮城県本吉郡南三陸町志津川字上の山 26  
上山八幡宮 社務所内 [minasan.msrk@gmail.com](mailto:minasan.msrk@gmail.com)

当法人は、トヨタ財団、大阪コミュニティ財団等の助成金を受けて、活動を行っています。